

復活！長崎と上海航路

【はじめに】

平成23年11月3日に長崎市と上海市を海路で結ぶ上海航路の第一便が長崎港の松が枝から出港し、6日に長崎港へ帰港しました。今年の2月からの本格運航に先駆け、この第一便は、多くの人の夢を乗せ今後の長崎と上海の友好の新たな第一歩となりました。

【長崎と上海航路の歴史】

「下駄を履いて上海へ」

大正～
昭和初期

・大正12年（1923年）上海航路開設

当時は現在のような国内の鉄道網や道路網が整備されておらず、長崎にとっては東京へ行くよりも上海が距離的にも時間的にも短く、「下駄を履いて上海へ」と言われるほど長崎と上海は身近な都市でした。

「新アジア軸」の構築へ

今回

平成23年(2011年)上海航路復活!!

日本や中国・韓国で整備が進む新幹線網や、高速道路網を上海航路などの海上航路で結ぶことにより、「新アジア軸」の構築を図ります。

アジアとの文化・観光・産業の新たな交流軸「新アジア軸」の核となる長崎港



【長崎港の将来像】

県では「長崎港長期構想検討委員会」を設立し、長崎港の将来像を検討しています。

今年度中に長崎港全体の長期構想を策定します。

構想の視点

- ・貿易の活性化
- ・クルーズの拠点
- ・離島への接続の強化
- ・まちづくりとの連携
- ・安心・安全なみなと

【おわりに】

長崎港は2020年には開港450年を迎える国内でも有数の深い歴史を持つ港です。その歴史は出島に代表されるような海外との交流が中心であり、その交流の中でも特に上海との繋がりは重要なものと考えています。

新アジア軸を通じ、長崎を国際ゲートウェイとした日中両国の交流がますます発展するよう取り組んでまいります。

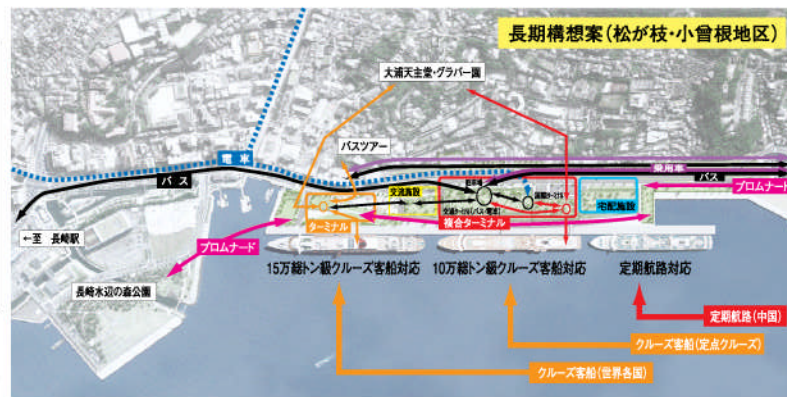
～お知らせ～



平成24年3月20日
世界最大級の客船
クイーン・メリー2
再び長崎港へ!!

詳細は長崎港HPにて

長崎港HP 検索



右上：出港セレモニーの様子
右下：上海に入港するオーシャンローズ

左上：松が枝ターミナルからの見送り
左下：長崎港の航空写真